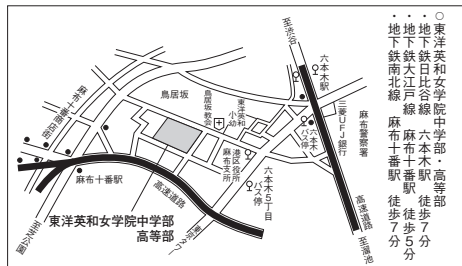


とう よう えい わ じょ がく いん 東洋英和女学院 中学部 高等部

〒106-8507 東京都港区六本木5-14-40 TEL03-3583-0696 部長 石澤 友康



〈URL〉<https://www.toyoeiwa.ac.jp>

沿革 明治17年(1884)、カナダ・メソジスト教会婦人ミッションから派遣された宣教師マーサ・J・カートメルによって、麻布鳥居坂に東洋英和女学校を開校。学制改革により昭和26年(1947)に中学部、同27年(1948)に高等部を設置し、現在に至ります。

校風・教育方針

聖書の中の言葉(マルコによる福音書 第12章 30、31節)より「敬神奉仕」を学校の標語として掲げています。キリスト教の精神に基づいた豊かな人間形成を目標として、一人ひとりを大切にしたい教育を実施しています。

キリスト教に基づいた人格教育

一人ひとりが神から与えられた賜物を生かし、喜んで神と人のために奉仕する愛の精神を育成する、という使命をもつ教育機関として在り続けています。礼拝、授業、行事、奉仕活動等を通して、神から愛されている、かけがえのない自分に気づき、神を愛し敬うこと＝【敬神】、また同じく神から愛されている隣人(他者)を愛し、隣人に仕えること＝【奉仕】へと導き、自立した女性を育てる、これが東洋英和女学院のキリスト教教育です。

キリスト教教育の特徴ともいえるのが礼拝です。毎朝の礼拝の他、イースター音楽礼拝やクリスマス礼拝、花の日礼拝など、キリスト教の暦に沿った礼拝があります。礼拝で神を讃美すると共に、日々読まれる聖書とお話を通して私たちがどのように生きるべきか、さらに変えられないものを受



け入れる心の静けさ、変えられるものを変える勇氣、その両者を見分ける知恵が育まれます。

英語教育・国際教育

グローバル化が進み、「国際語」としての英語の重要性が高まるなか、「世界で通用する英語能力の育成」を目標に掲げています。四技能(聞き、話し、読み、書く)をバランスよく身につけることを基盤に据え、将来国際的なコミュニケーションの場で自分の意見が発信できるよう学習します。英会話の授業ではネイティブ教員が作成した独自の教科書を使用。学校生活など身近な話題もあり中学生も興味を持って触れられる内容となっています。教科書とリンクしたホームページもあり、家庭でも英会話の授業の予習復習ができます。

中学部では英語を使うことに対する自信を育むことを目標とします。多様な価値観を尊重する姿勢を学ぶために英語の様々な作品や本に触れ、ネイティブの教師による英会話の授業で四技能をバランスよく学習します。英語で発表する機会を多く設け、[読む・聞く]インプットの力だけでなく、[書く・話す]アウトプットの力も養成します。

高等部では英語を通して様々な分野を学習します。多岐にわたる教材を読むことで、高度な英語力を身につけるだけではなく、文化、民族、科学、国際社会への関心やcritical thinking(論理的・懐疑的思考力)を養うことを目指します。希望制で以下のような研修・留学制度があります。
【カナダ研修】中3～高2の夏に実施。大学の寮に滞在して語学研修の後、ホームステイ。



2期制 登校時刻 8:00 昼食 弁当持参、売店 土曜日 休日

【オーストラリア研修】中3～高2の春に実施。現地校で授業や課外活動のほか他国の留学生とも交流。

【海外短期留学】加、豪の協定校に約2カ月間留学し、帰国後は次の学年に進級。高1・2対象。

【海外認定留学】1年以内なら留学先を自由に決められ、単位も認定。帰国後は次の学年に進級。

また、英語ディベート研究会は中3以上で構成。各種大会にも参加し同世代との交流を深め、世界に視野を向ける良い機会となっています。

生活指導・心の教育

中1全員が、ギリシャ語で「隣人に仕える」意を表すディアコニア学習活動に参加し、車椅子の体験や視覚障害者の疑似体験、点字の学習、施設訪問などを通じて、感謝し、分かち合う「奉仕」のこころを育んでいます。また、中1から高2までの有志が所属するYWCAでは、手話や点字の学習、養護施設や老人ホームの訪問など、各種の

ボランティア活動を行っています。

クラブ活動・学校行事

クラブ活動は21の文化系クラブ、7つのスポーツ系クラブがあり中学、高校の全生徒がいずれかに所属しています。学年を超えた集団生活の中で、上級生はリーダーシップや下級生を思いやる気持ちを育み、下級生は協調性や組織の中での役割を学びます。また、クラブの特性を生かしたボランティア活動も積極的に行っています。6年間を通じ、同じクラブの仲間と同じ時間を過ごすことは一生の財産となります。

野尻キャンパ、修養会、楓祭(文化祭)、合唱コンクール、体育祭や球技大会など多彩な行事があります。各行事や委員会活動では生徒主体の取り組みにより、それぞれが個性を光らせて自己実現する機会が豊富です。自己実現を繰り返し経験することで自己肯定感を育み、楽しく充実した学校生活を送ると同時に将来に向けた自信もつきます。

データファイル

■2026年度入試日程

中学部					
募集人数	出願期間	試験日	発表日	手続締切日	
A日程 約80	1/10～1/25	2/2	2/2	2/3	
B日程 約30		2/3	2/3	2/4	
帰国生 若干		2/2	2/2	2/3	

高等部

募集を行っていません

■2026年度選考方法・入試科目

中学部

A・B：国語、算数、社会、理科、面接

帰国生：国語、算数、面接

〈配点・時間〉国・算＝各100点45分 理・社＝各60点30分

〈面接〉生徒個人 帰国生は保護者同伴 参考

■2025年春併設大学への内部進学状況

併設の東洋英和女学院大学に進学を希望する場合には、一定の基準による推薦制度があります。

東洋英和女学院大学一3(国際社会)

■指定校推薦枠のある主な大学

青山学院大 学習院大 北里大 慶應義塾大 国際基督教大 上智大 聖路加国際大 中央大 法政大 津田塾大 東京歯科大 東京女子大 東京

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください

薬科大 東京理科大 日本歯科大 日本女子大 日本赤十字看護大 明治大 明治薬科大 立教大 早稲田大など

■2025年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
181人	150*人	0人	0人	5*人	0人	27人

*海外大5人のうち1人は日本の大学にも進学

■2025年度入試結果

中学部

募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
A日程 約80	289	242	97	2.5
B日程 約30	534	254	58	4.4
帰国生 若干	7	7	5	1.4

学校説明会 要予約

★中学部

9/6(全学年対象)

12/26(全学年対象)

入試説明会 11/15(6年生対象)

見学できる行事 要予約

文化祭 10/24・10/25

(入試相談コーナーあり)

クリスマス音楽会 12/13